

第4回北東アジア港湾局長会議の開催について

[Home](#)

平成15年10月24日

国土交通省港湾局は、平成15年10月28日(火)に、大韓民国海洋水産部港湾局長及び中華人民共和国交通部水運司副司長を迎え、第4回北東アジア港湾局長会議を開催する。概要は以下のとおり。

記

1. 日時

平成15年10月28日(火) 13:15～17:45(予定)

2. 場所

三田共用会議所(港区三田2-1-8)

3. 概要

日韓中三国の港湾担当局長が、三国の港湾の発展のため広範に意見交換を行うとともに、三国の港湾関係者の友好増進に資することを目的として、三国持ち回りで年1回開催されているもの。今回は第4回目であり、日本での開催は2000年9月の第1回に続いて2回目。なお、今回はロシア政府代表団がゲストとして参加する。

4. 出席者

(1)韓国側

海洋水産部港湾局長	李 相汶 (Mr. LEE, Sang-Moon)
仁川地方海洋水産庁港湾開発課長	朴 升企 (Mr. PARK, Seung-Gee)
他6名	

(2)中国側

交通部水運司副司長	徐 光 (Mr. XU Gang)
交通部水運司港口管理处長	王 金文 (Mr. WANG Jingwen)
他7名	

(3)日本側

国土交通省港湾局長	金澤 寛
国土交通省大臣官房技術参事官	大村 哲夫
他	

5. その他

会議終了後、今回の議事内容に関する記者会見を開催。
※詳細は別添資料を参照。

北東アジア港湾局長会議の概要

1. 北東アジア港湾局長会議とは

北東アジア港湾局長会議は、日韓中三国の港湾担当局長が、三国の港湾の発展のため広範に意見交換を行なうとともに、三国の港湾関係者の友好増進に資することを目的として 2000 年に設立されたもの。三国持ち回りで年 1 回開催されている。今回は第 4 回目であり、日本での開催は第 1 回に続く 2 回目である。

本会議については、小泉首相より、平成 13 年 11 月にブルネイで開催された日中韓首脳会談の席上で、三国間協力のひとつとして今後とも継続・推進していくとの意向が示された。また、今月、バリでの日中韓三国首脳会談の後、発表された「日中韓三国間協力の促進に関する共同宣言」で謳われている「運輸当局の間において貿易の円滑化に関する対話と協力を強化する」もののひとつとして位置付けられるものである。

また、港湾局長会議と併催で、三国の政府関係者、港湾管理者、研究機関、民間企業等の関係者が相互理解と交流を図ることを目的とした国際シンポジウムが開催される。

2. 第 4 回局長会議の主要議題

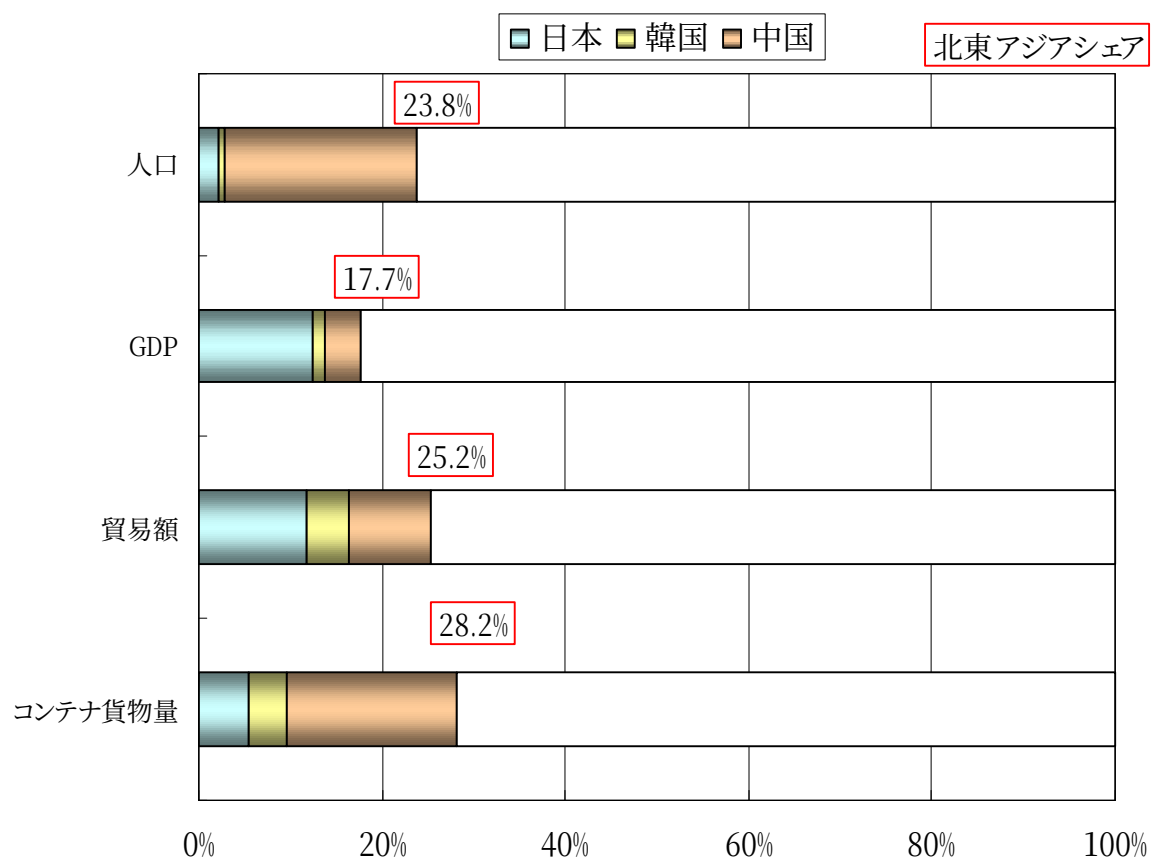
- ・各国の港湾を巡る動向の報告と意見交換
- ・共同研究の概要報告
 - 「北東アジアの海運物流コリドーの将来動向」
 - 「港湾建設の技術基準の国際標準化」
- ・新たな共同研究の採択
 - 「北東アジアにおけるクルーズの振興」
 - 「北東アジアにおける FTZ のモデルと港湾投資の振興に関する研究」
 - 「港湾構造物の信頼性設計法に関する研究」
- ・ロシアの参加

3. 関連スケジュール

10月27日（月）	各国代表来日
28日（火）	北東アジア港湾局長会議（東京 三田共用会議所）
29日（水）	新潟へ移動
30日（木）	北東アジア港湾シンポジウム（新潟 朱鷺メッセ）
31日（金）	新潟港視察
11月 1日（土）	各国代表帰国

世界における北東アジアの位置付け (全世界に占めるシェア)

日本・韓国・中国で構成される北東アジア地域は、人口・GDP・貿易額・コンテナ貨物量において世界の約二割のシェアを占めている。

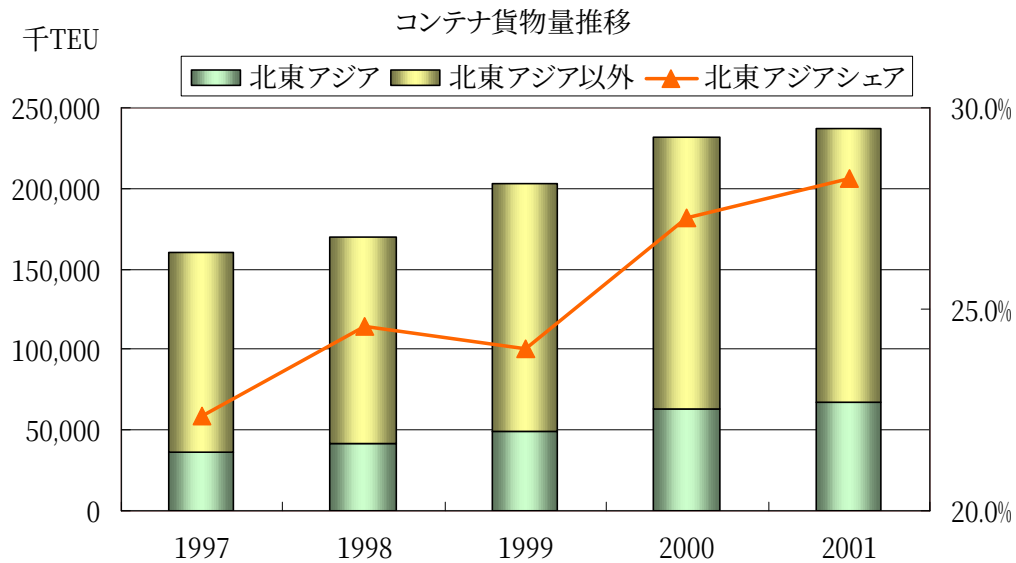


注) 北東アジアの値は日本、韓国及び中国の合計値

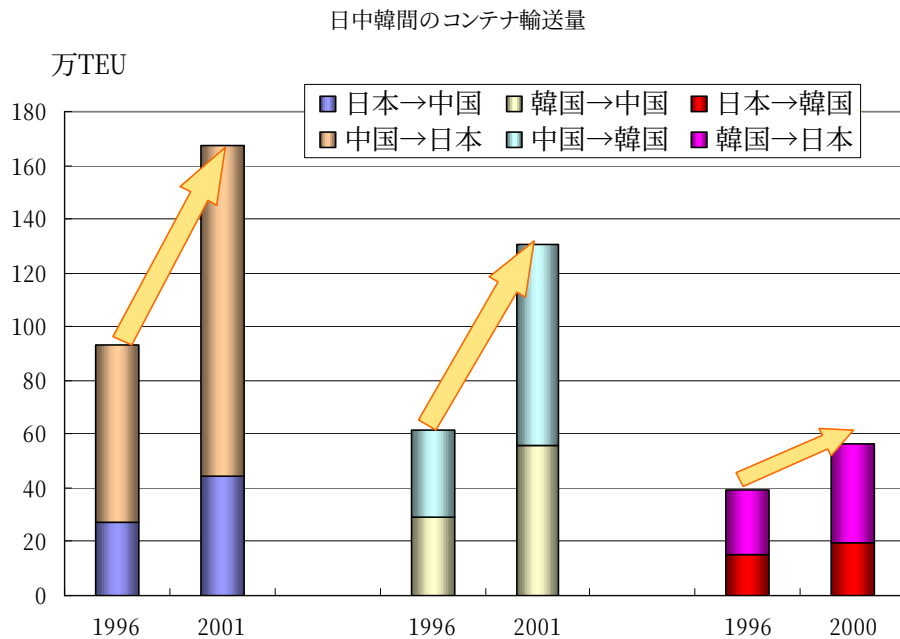
出典) 人口 (2001) : World Population Prospects 2000 (国連); International Financial Statistics 2002 (IMF) 等
 GDP (2002) : 世界銀行
 貿易額 (2001) : JETRO ; IMF: "Direction of Trade Statistics Database June, 2002" 等
 コンテナ貨物量 (2001) : Containerisation International

北東アジアにおけるコンテナ貨物の動向

北東アジア地域のコンテナ貨物量は急激に増加しており、世界でのシェアは、2001年時点で28%である。
特に、日中韓間でのコンテナ輸送量が著しい増加傾向を示している。



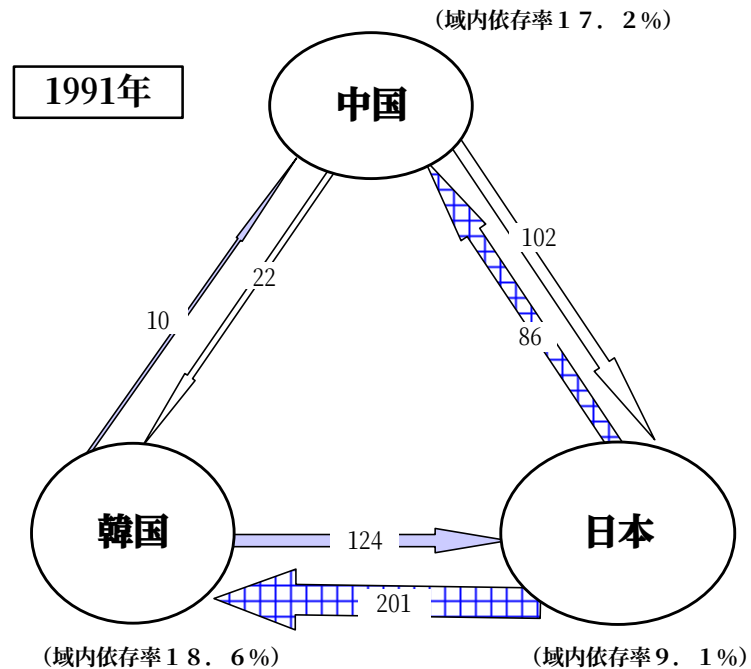
出典) Containerisation International Yearbook



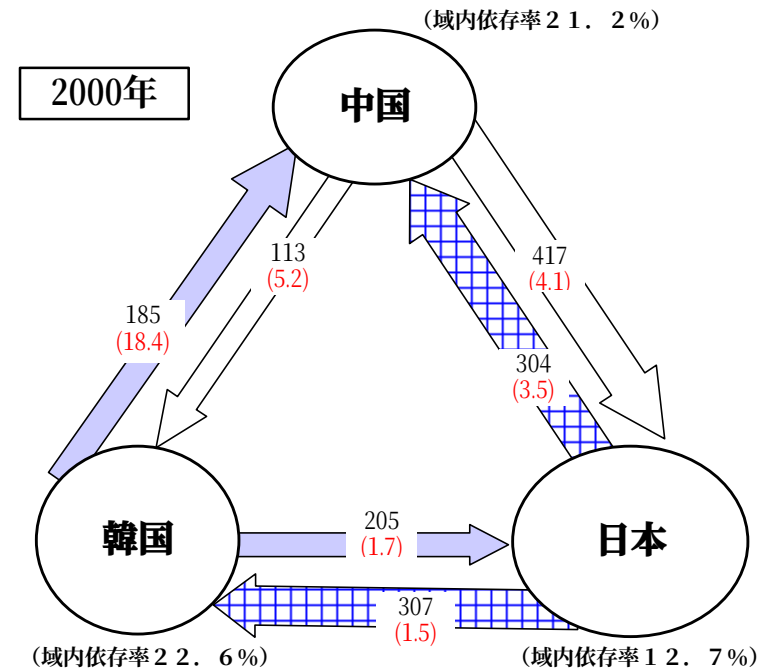
出典) 国際輸送ハンドブック2003年版「オーシャンコマース」

北東アジア各国間の輸出動向（総額）

北東アジア各国間の輸出額は、最近10年で大幅に増加した。また、各国の域内依存率が上昇していることから北東アジア域内の経済活動の相互依存関係が深まっていることがわかる。



貿易総額（域内への輸出合計）： 544億ドル（輸出の11.9%が域内向け）
貿易総額（世界への輸出合計）： 4,579億ドル



貿易総額（域内への輸出合計）： 1,530億ドル（輸出の17.0%が域内向け）
貿易総額（世界への輸出合計）： 9,007億ドル

- （備考）1. 中国には香港を含まない。
2. 1991年の韓国と2000年の中国及び韓国は特別貿易の額である。
3. 「域内依存率」は、総輸出額に占める北東アジア地域への輸出額の割合
（資料）「貿易統計年鑑」（国際連合）から作成。

（単位：億ドル）
（カッコ）内は1991年に対する倍率